

ごうどスポーツクラブ発表会&玉入れ大会

2月17日



NPO法人ごうどスポーツクラブ主催の「クラブ発表会&玉入れ大会」が町民体育館で開催され、空手ひよっこジュニアクラブ、チアユース、健康太極拳、キッズビクスの総勢110名が1年間の成果を発表しました。

その後、創立15周年記念事業として企画された玉入れ大会が行われました。それは、ただの玉入れではなく、タイムを競うスポーツ競技「アジャタ」です。参加したチームは、スピード感あふれる玉入れを大声を出しながら楽しみました。

レッツ エンジョイ!「もちのき園」の仲間と!

2月26日



神戸町障がい者生活介護施設「もちのき園」で、園の活動内容を紹介するイベントが開催され、神戸小学校5年生や住民、施設利用者ら約120名が参加しました。

施設の1年間の活動を映像で紹介した後に、コンサートが開かれました。ゲストは昨年に引き続き、音楽や書道を通して障がい等への理解を深める活動を行っている浅井敦子さんと三女の詠子さんです。詠子さんは「水戸黄門」の主題歌に合わせて小鼓を披露。児童との和太鼓の演奏では、参加者全員が膝をたたいたり手を伸ばしたりとリズムに乗って楽しみました。

The Best Time



だいしん緑化文化振興財団より寄贈

3月5日



公益財団法人だいしん緑化文化振興財団より、小・中学校児童生徒の読書振興に寄与することを目的に、図書購入費として10万円の寄付をいただきました。

同財団の西脇史雄理事長は「4月23日の『こども読書の日』、4月23日～5月12日の『こどもの読書週間』に合わせて、町内の子どもたちがもっと読書に親しみを持つようご活用ください」と話し、町長は「今回のご寄付を、5つの学校の蔵書を充実させるべく使わせていただきます」とお礼を述べました。

デキる男子の男塾!

3月9日



神戸町青年のつどい協議会主催の手作りお菓子「男塾」が中央公民館で開催され、園児から小学生までの男子とその保護者23名が参加しました。日頃の感謝をこめて、ホワイトデーにプレゼントする「アイシングクッキー」作りを、製菓衛生士の大場恭子先生の指導を受けて行いました。参加者は、慣れないお菓子作りに苦戦しながらも、気持ちを込めて作り、できあがったクッキーを見て笑顔いっぱい。「とても楽しかったです。気持ちを込めて作ったクッキーを、お母さんと妹にプレゼントします♪」「お母さんと一緒に食べたいです!」と感想を話し最後に修了証書を受けとって、デキる男子の仲間入りをしました。

神戸町レクリエーション協会設立総会

3月10日



神戸町レクリエーション協会の設立総会が、開催されました。同協会は、「レクリエーション活動の普及や振興を図り、町民の余暇時間の充実と健全な心身の発達を促すこと」を目的とし設立され、2020年に神戸町で開催される「ねんりんピック2020 ふれあいレク大会（ティーボール）」の成功に向けて、レクリエーションの推進・啓発などをを行います。

初代会長の安田賢一さんは、「皆さんの協力をいただき、皆さんと一緒に楽しい、住みやすい、活気ある神戸町にしたい」と話されました。

老人大学講座閉講式 皆勤賞153名、精勤賞55名を表彰

3月14日



「平成30年度老人大学講座」の閉講式が中央公民館で開催され、302名が受講しました。本年度最後の講座では、飛騨の玉三郎一座による「舞踊と歌謡トークショー」が行われ、受講者は楽しいひと時を過ごしました。

講座終了後には、皆勤賞と精勤賞受賞者の表彰式が行われ、皆勤賞を代表して渡邊護さん(南方)と精勤賞を代表して吉田文雄さん(柳瀬)に証書と記念品が贈られました。

Yeah!!
Godo
Topics



親子で神戸の小松菜 収穫体験！

3月17日



町の特産品である小松菜に親んでもらうことを目的に、(有)健康やさい村の主催で親子による小松菜収穫体験が行われました。

当日は17組の親子が参加し、ハウスの中で小松菜の収穫に挑戦！作業に苦戦しながらも、親子で協力して上手に収穫し袋詰めができました。参加者は「葉がバラバラにならないように収穫するのが楽しかった」「茎を折らずに収穫するのが難しかった」と話しました。

昼食には、小松菜が練りこまれた麺を使ったラーメンや焼売など、小松菜をふんだんに使った料理に舌鼓を打ち、神戸町の特産品を五感で味わいました。

Super!!
Godo
Topics



被災地に届けよう！アルミ缶等収益金寄付

3月19日



地震などの災害があった地域の支援の一助となることを目的に2つの小学校から、日本赤十字社岐阜県支部神戸分区長の谷村町長に寄付の受け渡しが行われました。

南平野小は、1・5・10円玉募金を1年で3回実施し、1万9,074円を集めました。環境委員長の坂本渉海さんは「被災地を助けるために呼びかけて集めた。少しでも被災地の方の助けになると嬉しいです」と話しました。

北小は、アルミ缶を回収して得た1万円の収益金を寄付。環境福祉委員長の脊戸堅太さんは「全校朝会等で呼びかけて集めた。まちの復旧に使って欲しい」と寄付金を手渡しました。

Godo
Topics

